事業所名　チャイルドサポートいしがき（児童発達支援）

支援プログラム

作成日　令和８年　4　月　1　日

法人（事業所）理念	利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをします									
支援方針	日常的に医療ケアを必要とする児童一人一人が安心して過ごせ、保護者の方が自分の時間を確保してリフレッシュしたり、仕事に出られるようにお手伝いをします ご家族の心に寄り添い、ご家族と共に地域の中で育てていくことを理想としています 一人一人の障がいの特性や発達状態に応じて、いろいろなあそびや体験を通して、心身の調和による発達を促せるよう支援を行います									
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無　あり
	支　援　内　容									
本人支援	健康・生活	・来所時に体温の測定や体調確認を行い、子どもたちの様々なサインや異常に気づけるように一人一人の体調を把握し支援を行います。 ・体温の調節や覚醒と睡眠など健康状態の維持・改善に必要な生活のリズムを獲得、食事や排泄などの生活習慣の形成ができるように支援を行います。								
	運動・感覚	・いろいろな刺激や保有する感覚を遊びの中で体験したり、経験ができるよう支援を行います。 ・姿勢保持や上肢、下肢の運動などを通して、身体の動かし方や使い方に気づくことができるように支援します。								
	認知・行動	・いろいろな素材を触る、握る、硬いものやスライムなど手や身体に触れ、興味や関心を引き出せるように支援を行います。 ・音楽遊びを通して楽器で音を鳴らしたり、季節にあわせたペープサートにあわせて歌ったり、音楽に親しむことができるように支援を行います。 ・野外活動や手遊び、絵本の読み聞かせなどを行い、季節の変化への興味や関心などの感性を養うことができるように支援を行います。								
	言語 コミュニケーション	・遊びや活動、スキンシップなどを通して、体験したことの言語化を図るように支援を行います。 ・一人一人が日常の「できた」「楽しかった」など、本人にあわせて様々なコミュニケーションツールを使って、達成感が感じられるように支援を行います。 ・子どもたちに対して優しい言葉を使い、感謝の気持ちや謝ること等、良好なコミュニケーションのモデルになるように支援を行います。								
	人間関係 社会性	・遊びを通して他者の存在に気づいたり、共同で遊んだり、協力やコミュニケーションのスキルが養えるように支援を行います。 ・お店ごっこやお医者さんごっこなど、日常の役割を演じる遊びを通じて、他者との関係を理解し、感情を表現する方法を学べるように支援を行います。								
家族支援	・送迎、延長支援、入浴支援も必要に応じて対応いたします。 ・チャイルドサポートいしがきといしがきⅡ合同で親子レクリエーションやクリスマス会など、親子で参加できる交流会を実施しています。 ・年２回保護者ゆんたく会（茶話会）を実施し、保護者の悩み事や事業所での様子などの情報交換を行います。							移行支援	・相談支援専門員、関係機関、他事業所と連携を図り、就学や進学に向けて準備をします。また、就学、進学後も定期的に会議の場を設け、学校や保護者との情報共有を図ります。	
地域支援・地域連携	・地域行事に参加したり、近隣の事業所との交流などを行ったりしています。							職員の質の向上	・外部講師を招いて、姿勢についてや呼吸についての勉強会を実施し、子どもたちの一人一人の特性や支援について知識を深めています。	
主な行事等	・親子レクリエーション、ハロウィン、クリスマス会、お別れ遠足、毎月誕生日会を行っています。※チャイルドサポートいしがきⅡと合同で行っています。									

事業所名	チャイルドサポートいしがき （放課後等デイサービス）	支援プログラム	作成日	令和８ 年	4 月	1 日

法人（事業所）理念	利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをします										
支援方針	日常的に医療ケアを必要とする児童一人一人が安心して過ごせ、保護者の方が自分の時間を確保してリフレッシュしたり、仕事に出られるようにお手伝いをします ご家族の心に寄り添い、ご家族と共に地域の中で育てていくことを理想としています 児童一人一人の障がいの特性や発達状態に応じて、いろいろなあそびや体験を通して、心身の調和による発達を促せるよう支援を行います										
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
	支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	・来所時に体温の測定や体調確認を行い、子どもたちの様々なサインや異常に気づけるように一人一人の体調を把握し支援を行います。 ・体温調節や覚醒などの維持、改善に必要な生活リズムを身に付けることができるように支援を行います。									
	運動・感覚	・自己喀痰できる姿勢やリラックスして過ごせる姿勢など、一人一人に合わせた姿勢を工夫しながら支援を行います。 ・姿勢保持や上肢、下肢の運動などを通して関節の拘縮や筋力維持ができるように支援を行います。 ・いろいろな刺激や保有する感覚を遊びの中で体験したり、経験ができるよう支援を行います。									
	認知・行動	・いろいろな素材を触る、握る、硬いものやスライムなど手や身体に触れ、興味や関心を引き出せるように支援を行います。 ・音楽遊びを通して楽器で音を鳴らしたり、季節にあわせたペープサートにあわせて歌ったり、音楽に親しむことができるように支援を行います。 ・野外活動や手遊び、絵本の読み聞かせなどを行い、季節の変化への興味や関心などの感性を養うことができるように支援を行います。									
	言語 コミュニケーション	・日常の「できた」「楽しかった」など、本人にあわせて様々なコミュニケーションツールを使って、意志の伝達ができるように支援を行います。 ・遊びや活動、スキンシップなどを通して、体験したことの言語化を図るように支援を行います。									
	人間関係 社会性	・他者との関わりを意識し、周りの人と安定した信頼関係を形成するための支援を行います。 ・集団への適応や集団の一員としての活動を行い、状況の変化（賑やかな雰囲気等）への慣れ、集団活動を通した満足感や自信がもてるように支援を行います。									
家族支援		・送迎、延長支援、入浴支援も必要に応じて対応いたします。 ・チャイルドサポートいしがきといしがきⅡ合同で親子レクリエーションやクリスマス会など、親子で参加できる交流会を実施しています。 ・年２回保護者ゆんたく会（茶話会）を実施し、保護者の悩み事や事業所での様子などの情報交換を行います。							移行支援	・相談支援専門員、関係機関、他事業所と連携を図り、就学や進学に向けて準備をします。また、就学、進学後も定期的に会議の場を設け、学校や保護者との情報共有を図ります。
地域支援・地域連携		・地域行事に参加したり、近隣の事業所との交流などを行ったりしています。								職員の質の向上	・外部講師を招いて、姿勢についてや呼吸についての勉強会を実施し、子どもたちの一人一人の特性や支援について知識を深めています。
主な行事等		・親子レクリエーション、ハロウィン、クリスマス会、お別れ遠足、毎月誕生日会を行っています。※チャイルドサポートいしがきⅡと合同で行っています。									